

## ご挨拶

この度、生殖バイオロジー東京シンポジウムの大会長を務めさせていただきます真島靖重と申します。鈴木秋悦先生が立ち上げられた本学会も、第20回の記念大会となり、節目となる本会を担当させていただきます事を大変光栄に存じます。

生殖医療は日々急速に進歩し、本会の開始当初は考えも及ばなかった技術が次々と開発され、標準的な技術として確立して参りました。現在からさらに20年後には、現在不可能とされる技術も次々と可能になっていく事と思います。不可能を可能とする未来への期待を込め、本会のテーマを「さらなる20年への飛躍」とさせていただきます。

2020年4月、COVID-19のパンデミックにより緊急事態宣言が発令され、日本生殖医学会からも積極的な不妊治療の延期が提言されました。この事もあってか2021年1月、2月の分娩数は著しく減少していると感じております。2020年度の日本の出生数は86万人台と過去最低となり、このままでは2021年度の予測出生数は79万人台と減少が10年ほど早まる事が予想されております。実際、日本における2020年度の採卵数は約3割程度減少しているとの事です。

菅内閣は少子化対策の柱として来年4月にもARTの保険適応を目指しているようです。今までほとんどが保険適用外であった治療薬を保険で認めることになれば、およそ年間400億円程度の事業になるとの事であり、妊娠を希望するカップルにとっては朗報となるでしょう。

保険適応にするにあたり重要となるのは、ある程度の治療の標準化であると考えます。国民の税金である医療費を効率よく無駄なく使用する事が必要となります。会の前半では様々な卵巣刺激法についてご発表いただきます。

COVID-19により様々な事が大きく変化いたしました。しかしそれは悪い方向ばかりではありません。

また、非接触型・遠隔型の診療や治療、在宅ワークに伴う働き方の変化など大きな変化は新しい技術を生み、ややもすれば患者の治療の後押しになるかもしれません。

会の後半では未来に向けて、まだ標準化されていない配偶子提供や移植医療の領域について、それに伴う法的・倫理的問題も含めて触れさせていただきます。

我々は、この20年間で様々な進化をして参りました。COVID-19すらも「さらなる20年への飛躍」の礎と出来るよう進化を続けて参りたいと存じます。本会が多数の皆様の日からの診療のお役に立てますよう祈念いたしております。また開催にあたり、世話人・講師・座長の労をとって頂きました先生方、企業の皆様にご心より感謝申し上げます。

2021年4月吉日

生殖バイオロジー 東京シンポジウム  
第20回大会 会長 真島靖重  
(真島クリニック 名誉院長)

参加申込：事前参加受付はオンラインによる登録とさせていただきます。詳細はホームページにてご確認ください (<http://rbiotk.org/>)。

事前申し込み期間は  
2021年6月21日(月)～8月27日(金)です。

参加費：	医師	医師以外
事前登録	20,000円	12,000円
当日登録	22,000円	14,000円

懇親会：covid-19の感染状況を考慮して、後日WEBにてご案内致します。

事務局：(株)ヒューマンリプロ・K  
〒226-0003 横浜市緑区鴨居6丁目19-20  
Tel：045-620-7560 Fax：045-620-7563

詳細はウェブサイトをご覧ください。  
<http://rbiotk.org/>



地下鉄：永田町駅直結・赤坂見附駅より徒歩1分  
東京メトロ5路線利用可能

(有楽町線、半蔵門線、南北線、  
銀座線、丸ノ内線)

J R：四ツ谷駅 麹町出口より 徒歩14分  
首都高速：霞ヶ関出口より10分



# 第20回 生殖バイオロジー東京シンポジウム

共催：日本臨床工生ブイオロジスト学会

2021年9月12日(日) 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井カンファレンス



# the20th Reproductive Biology Tokyo Symposium 2021

さらなる20年への飛躍

● 2021年9月12日(日)

● 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井カンファレンス4F

- 8:00 登録・受付開始
- 8:50 **開会の辞** 鈴木 秋悦 (生殖バイオロジー東京シンポジウム 代表)  
森本 義晴 (生殖バイオロジー東京シンポジウム 副代表)
- 8:55 **大会長挨拶** 真島 靖重 (真島クリニック 名誉院長)
- 9:00 **◆教育講演1：卵巣刺激法**  
座長：古井 憲司 (クリニックママ 理事長)  
吉田 仁秋 (仙台ARTクリニック 理事長)
- 9:00 ① 卵巣予備能に基づいた個別化卵巣刺激—当院の工夫  
演者：塩谷 雅英 (英ウイメンズクリニック 理事長)
- 9:25 ② PCOSの安全な卵巣刺激  
演者：岡本 純英 (ART岡本ウーマンズクリニック 院長)
- 9:50 ③ PPOS (黄体ホルモン併用療法) による排卵誘発法の実際  
演者：岩見菜々子 (神谷レディースクリニック)
- 10:15 ④ ホルモンレセプター陽性乳がんの卵巣刺激法  
演者：塩田 恭子 (聖路加国際病院 女性総合診療部 医長)
- 10:40 展示 & ポスター閲覧 (コーヒーブレイク)
- 11:00 **◆特別講演**  
11:00 生殖バイオロジー今までの20年、今後の20年  
演者：森本 義晴 (HORACグランフロント大阪クリニック 院長)  
座長：柏崎 直巳 (麻布大学獣医学部 教授)
- 11:40 展示 & ポスター閲覧
- 12:05 **◆ランチョンセミナー**  
12:05 子宮内膜症と不妊  
演者：百枝 幹雄 (聖路加国際病院 女性総合診療部 部長 / 副院長)  
座長：菅原 延夫 (いわき婦人科 理事長 / 福島県立医科大学 特任教授)
- 13:00 **◆ポスターセッション**  
13:00 優秀演題 口演 2題  
座長：真島 実 (真島クリニック 院長)  
座長：沖津 撰 (楠原ウイメンズクリニック 培養室長)
- 13:20 学術奨励賞 授与式  
森本 義晴 (生殖バイオロジー東京シンポジウム 副代表)
- 13:40 **◆教育講演2：精子・卵子バンクの現状**  
座長：久保 春海 (日本不妊予防協会 理事長)
- 13:40 ① ICMART世界の現状と日本で必要とされる法改正について  
演者：石原 理 (埼玉医科大学産婦人科学 教授)
- 14:10 ② 精子バンク  
演者：伊藤ひろみ (Cryos International ApS 日本事業担当ディレクター)
- 14:30 ③ アメリカの卵子バンク  
演者：岡垣ジョージ (LA Baby Fertility Agency 代表取締役)
- 14:50 展示 & ポスター閲覧
- 15:10 **◆カレントトピックス**  
座長：片桐由起子 (東邦大学産科婦人科学講座 教授)  
古賀 文敏 (古賀文敏ウイメンズクリニック 院長)
- 15:10 ① XY精子 選別  
演者：島田 昌之 (広島大学大学院統合生命科学研究科 教授)
- 15:40 ② マウスの卵子をかたち作る遺伝子群  
演者：林 克彦 (九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医学講座 教授)
- 16:10 ③ 子宮移植 ～新しい生殖医療の展開～  
演者：木須 伊織 (慶應義塾大学 産婦人科学 助教)
- 16:40 **次期会長挨拶** 臼井 彰 (臼井医院 不妊治療センター 院長)
- 16:50 **閉会の辞** 真島 靖重 (真島クリニック 名誉院長)